

電子情報通信学会技術研究報告執筆要項

◇◇◇執筆にあたってのお願い◇◇◇

本執筆要項を充分ご確認の上、原稿締切日厳守で原稿をご提出下さい。

A. 提出して頂く書類は下記のとおりです。

(1) 原稿

- ・ 原稿は本会技術研究報告スタイルファイル (Word, TeX) を御利用下さい。原稿の書き方は下記「執筆要項」をご参照下さい。
- ・ 指定された原稿締切日・原稿枚数を厳守して下さい。原稿締切日に間に合わない場合、原稿なしの口頭での発表、または、キャンセルになる場合がありますので、締切厳守をお願い致します。また、原稿枚数が超過する場合は、必ず研究会幹事の了承を得てその旨事務局にもご連絡下さい。
- ・ 原稿の訂正、差し替えなどが生じないよう充分推敲して下さい。重大な誤りのためにやむを得ず正誤表を出す場合は、事務局研究会課までメールでお問合せ下さい。正誤表作成要領、ご用意いただく枚数、手数料(1研究会あたり3,000円)等をお知らせします。ただし、正誤表の封入は当該月日の技術研究報告に限ります。

(2) 著作権譲渡書 (平成18年4月以降)・別刷申込用紙

- ・ 技術研究報告に掲載される論文の著作権は、本会に帰属しますので、「著作権譲渡書」にご記入の上、必ず原稿に同封して下さい。著作権については本会著作権規程 <http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/chosakukenkitei.html> をご参照下さい。
- ・ 別刷を申し込まれる場合は、原稿と一緒に申込用紙を提出して下さい。あとの申込みはお受けいたしかねます。別刷の申込みは研究会によって異なりますので、原稿執筆依頼のメールに添付する連絡用紙にて確認して下さい。

(3) 著者紹介用紙

- ・ 著者紹介用紙の記入は任意です。用紙の提出がない場合は、当日会場にて自己紹介をして頂くことができます。

B. 著作権と発行日について

(1) 著作権について 本会著作権規程 <http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/chosakukenkitei.html> 参照

- ① 本会技術研究報告に掲載される論文等の著作権 (複製, 翻訳, 翻案, 電子的形体での利用等のすべてを含む包括的な著作権) は、原則として本会に帰属するものとする。
- ② 国際会議, 他学会との共催研究会等特別の事情により①項の適用が困難な場合は、別途協議の上処置する。
- ③ 著者自身が本会以外に投稿する場合 (利用先媒体が紙版の場合), 本会に許可を求めるのが原則であるが、「権利表示」と「出所の明示」をすれば実質的には省略する。ただし、営利目的の出版物に投稿する場合は、本会に申し出ることとする。
- ④ 第三者から、論文等の複製, 翻訳, 翻案, 電子的形体での利用等に関する許諾の要請があり、本会において必要と認められた場合は、本会において要請に応ずることができる。但し、営利目的の出版物に対する許諾については著者に必ず連絡をする。
- ⑤ 本会が第三者に対して複製, 翻訳, 翻案, 電子的形体での利用等の許諾を有償で行ったことにより収入のあった場合は、当面本会会計に繰入れ、学会活動に有効に利用するものとする。

以上により、技術研究報告に掲載される論文等の著作権は、本会に帰属することとなりますので、著作権譲渡書を必ず原稿に同封していただきますようお願いいたします。

(2) 発行日について

研究会開催初日の1週間前(7日前)を発行日(公知日)としておりますのでご注意ください!

1回の開催につき2日あるいは3日間等の複数日数で開催される場合、技術研究報告は研究会ごとに1冊の合冊で発行致します。(2008年8月以降は全ての研究会で合冊です。)

これにより、技報の発行日(公知日)は初日の1週間前(7日前)となりますので、ご注意ください。

特許権につきまして、発行日から6ヶ月間は権利を主張できますが、投稿する方は投稿論文の特許、その他の権利を早めに申請する等、権利保護に充分注意して下さい。

(3) 技術研究報告の贈呈

著者用として、原稿1件につき発表日分を発表当日受付にて1部贈呈します。発表当日受付の担当者に発表者である旨お申し出下さい。後日の受け取りはお受けいたしかねます。

(4) 原稿の返却

提出していただいた原稿は原則として返却しておりません。

技術研究報告原稿執筆要項

◇◇◇技術研究報告原稿の書き方◇◇◇

技術研究報告は提出いただいた原稿をそのまま印刷(A4)しますので、下記参照の上、ご執筆下さい。

(1) 原稿の書き方

① スタイルファイル(WordまたはTeX)をご利用の場合(推奨)

スタイルファイルご利用の場合は上下左右の余白、レイアウトは各スタイルファイルに従ってご執筆いただければ問題ありません。ヘッダの部分(IEICE Technical Report...)はそのまま残しておいて下さい(印刷時に事務局で張り替えて論文番号などを差し込みます)。

1ページ目は標題、発表者(共著者含む)氏名、勤務先、連絡先(電話番号、E-mail)、キーワード(6個程度)の和文と英文およびあらまし(和文300字程度、英文100語程度)をバランスよくお書き下さい。

[特別招待講演]の方は[特別招待講演]、[特別講演]の方は[特別講演]、[招待講演]の方は[招待講演]、[基調講演]の方は[基調講演]等、一般の講演以外の方はタイトルの前に[〇〇講演]と必ずお入れ下さい。

本文は和英の標題・・・あらましのあとに2段組でそのまま続けてお書き下さい(ページをかえる必要はございません)。2ページ目以降は1ページ目に入った本文同様、2段組でつづけてお書き下さい。

インクは黒とし、印字のかすれや濃淡のムラのないよう注意して、片面印刷して下さい。文字の大きさは、本文は9ポイントを標準とし、字間および行間は適宜調整して下さい。ただし、標題はバランスを考慮して拡大文字とするのが望ましい。また、書き終わった原稿には右下欄外に鉛筆でページ数を必ず記入して下さい。

② スタイルファイルを使わない場合

任意の A4 判の用紙を用いて作成して下さい。1 ページ目は上部 4 cm 下部 1.5 cm 左右各 1.5 cm の余白をとり、発表者（共著者含む）氏名、勤務先、連絡先（電話番号、E-mail）、キーワード（6 個程度）の和文と英文およびあらまし（和文 300 字程度、英文 100 語程度）をバランスよくお書き下さい。

[特別招待講演]の方は[特別招待講演]、[特別講演]の方は[特別講演]、[招待講演]の方は[招待講演]、[基調講演]の方は[基調講演]等、一般の講演以外の方はタイトルの前に[〇〇講演]と必ずお入れ下さい。

本文は和英の標題・・・あらましのあとに 2 段組でそのまま続けてお書き下さい（ページをかえる必要はございません）。

2 ページ目以降は上部 2.5 cm 下部 1.5 cm 左右各 1.5 cm の余白をとり 1 ページ目に入った本文同様、2 段組でそのままつづけてお書き下さい。

インクは黒とし、印字のかすれや濃淡のムラのないよう注意して、**片面印刷**して下さい。文字の大きさは、本文は 9 ポイントを標準とし、字間および行間は適宜調整して下さい。ただし、**標題はバランスを考えて拡大文字とするのが望ましい**。また、書き終わった原稿には右下欄外に鉛筆でページ数を必ず記入して下さい。

(2) 図と表、写真

図と表、写真を紙で切り貼りする場合は、はがれたり、原稿用紙の枠からはみでたり、送付の際に折れたりすることのないよう注意して下さい。図面、写真、表の文字や数字は本文と同じ大きさとして下さい。また、白黒印刷のため、カラー写真も白黒での印刷となりますので、黄色などは印刷時に色が出ないことがあります。オフセット印刷で原稿をそのまま印刷しますので、十分ご留意の上、作成くださいますようお願いいたします。

原稿提出先・問合せ先

一般社団法人 電子情報通信学会 大会・研究会部 研究会課
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
TEL (03) 3433-6691 FAX (03) 3433-6659 E-mail: ken@ieice.org